



特集

移動販売車出発！

由布市／庄内厚生館納涼祭



Twitter

facebook

やっています。
ぜひ登録をお願いします。

大分県社協

検索

<http://www.oitakensyakyo.jp>



この広報誌は、共同募金の助成を受けて発行しています。

- NOSAI 70周年記念事業感謝米体験
- ふくしまっ子応援プロジェクト7
- ボランティアコーディネーター基礎研修
- 豊の国ねりんピック 美術展・短文学
- あすびあおおいた卓球バレー大会／ゆうあいスポーツ
- 成年後見制度利用促進基本計画って何？
- おおいたくらしサポート事業／世帯の自立をお助けします
- 介護の職場を体験しませんか／福祉サービス第三者評価
- 決算・事業報告／共同募金会からお知らせ
- フードバンクにご協力を／善意銀行／賛助会員・募集



2017年6月2日

移動販売車出発!

出発式



販売



杵築市中山間地域に向け 移動販売車 出発!



6月2日、杵築市社会福祉協議会にて、杵築市中山間地域における移動販売、「杵築市くらしの“よりどころ”づくり移動販売車出発式」を開催しました。
販売先の住民からは「スーパーが近くにないので助かる。交流の場にもなりそう。」と喜びの声をいただきました。



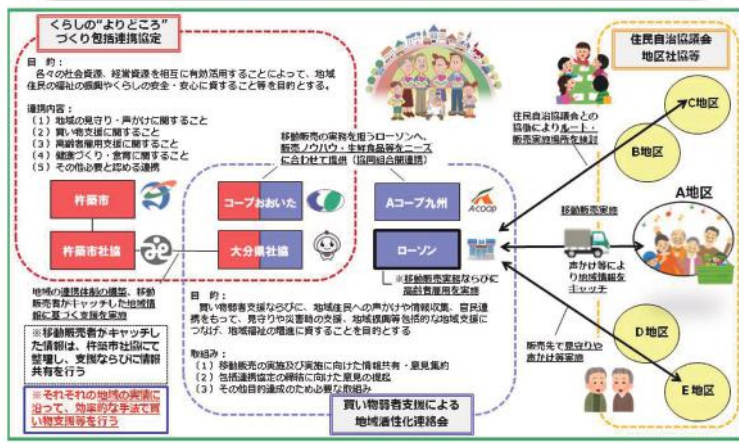
杵築市中山間地の手法

今回実施する移動販売は、商品の販売だけではなく、見守り・声かけ、地域活力の醸成など官民一体となって地域づくりを行う取り組みです。

今年1月に「くらしの“よりどころ”づくり包括連携協定」を締結した、杵築市、杵築市社会福祉協議会、生活協同組合コープおおいた、本会の4者と、株式会社ローソン、生活協同組合コープおおいた、株式会社Aコープ九州、本会の4団体で構成する「買い物弱者支援による地域活性化連絡会」が連携することにより、このたびの杵築市中山間地域での移動販売が実現しました。

くらしの“よりどころ”づくり事業イメージ <中山間地の1事例> (見守り支援・買い物支援・高齢者雇用支援)

※コンビニ(ローソン)を拠点・中心とした移動販売



NOSAI 70周年記念事業

感謝米体験

6月24日、県内6カ所の児童福祉施設の子どもたちと職員24名が参加し、大分県農業共済組合と農事組合法人丹川のみなさまのご指導のもと田植え体験が実施されました。

最初は田んぼに恐る恐る入る子もいましたが、慣れるにつれて田植えをとっても楽しんでいました。その後、記念撮影を行い、全員で昼食をいただきました。

参加した子どもたちは、今後予定されている稲刈りにも参加し、収穫したおいしいお米を食べることを期待しているようです。



初めての田植え体験でした

ふくしまっ子応援プロジェクト7

本会では、県ボランティア連絡協議会、コープおおいた、エフコープ、コープさがとの実行委員会により、“ふくしまっ子応援プロジェクト7”を実施しました。

東日本大震災発災後、今年で7回目となるプロジェクトで、東日本大震災による原発事故の影響により、海や山などの大自然と親しむことが今もなおむずかしい福島県の子どもたちに、夏休みを利用して大分、福岡、佐賀の大自然のなかで体を動かし、思いっきり遊んでもらおうという企画です。

実施にあたって、まず、大銀ドームやトキハ本店前で、街頭募金活動を実施しました。県立芸術文化短期大学や智泉福祉製菓専門学校の学生や県ボランティア連絡協議会等のボランティアの方々、コープおおいたの組合員の方々にご協力いただきました。暑いなかでの募金活動でしたが、みなさん大きな声で募金の呼びかけをしてくださいました。

また、街頭募金以外にも、多くの企業、団体、一般の方々から多くのご寄付をいただいております。ありがとうございました。



7月21日からの4泊5日の日程で来県したふくしまっ子たち。初めは緊張していましたが、子ども同士も地元のボランティアの方々ともすぐに打ち解け、九州の暑い日ざしに負けない元気で各行程を楽しんでいました。また、お世話になった方々へのお礼にしっかりと自分達の感想をかわるがわる述べている姿が印象に残りました。





大分から、佐賀、福岡と移動していくなかで、子ども達は日に日に焼け、肌が黒くなり、たくましくなったように感じられました。また、多くの方々との交流により、心の栄養も満タンにしたかのような笑顔であふれ、日々成長していく姿に感銘を受けました。

今回の旅でできた多くの方々との絆や思い出を忘れずに、これからも素直で明るく、立派な大人に成長してほしいと思いました。



今回のプロジェクトに携わっていただきました皆様には、様々な点でご支援を賜りました。本当にありがとうございました。



ボランティアを支えるチカラの向上を目指します！

6月19日、県内の高齢者・障がい者・児童等社会福祉施設のボランティア受入担当と市町村社協の職員を対象に“ボランティアコーディネーター基礎研修”を開催しました。

京都光華女子大学講師の南多恵子さんをお招きし、ボランティア受入れのスキルやボランティア個人の特技・個性を生かしたプログラム作りなど、ボランティア活動を通じ、活動者と受入側が互いに“Win-Win”の関係になるためのコツを学びました。

「夏のボランティア体験月間」で実際にボランティア受入れを行っている担当者も多く参加し、「早速、今年の実受入れの参考にしたい」という声が聞かれました。



OPAMで「美術展」「短歌・俳句・川柳展」を開催

今年で第28回となります「豊の国ねんりんピック美術展」、「シルバーふれあい短歌・俳句・川柳展」を5月9日～14日の6日間、県立美術館OPAMで開催し、期間中は1,300名を超える来場者で賑わいました。

県立美術館での開催は今年で2回目でしたが、県内各地の皆様から出品いただいた素晴らしい作品258点を展示しました。

今回の美術展で最優秀賞を受賞された12名の方々の作品は、9月9日から秋田県で開催される「第30回全国健康福祉祭あきた大会」美術展の大分県代表として出品します。

第28回豊の国ねんりんピック 美術展 最優秀賞作品(全国健康福祉祭あきた大会出品作品)

日本画の部



「香風」糸永慶子(大分市)



「錦秋富貴寺」
近藤俊二郎(豊後高田市)

洋画の部



「枯れてもなお…」
高木綾子(津久見市)



「黒い生きもの」中根修身(宇佐市)

彫刻の部



「未来観音」
佐藤一實(豊後大野市)



「鷹 獲物を狙って」
財津晴喜(日田市)

工芸の部



「Wood art」
田中勇司(日出町)



「矢筈差し花器」
矢野孝徳(大分市)

書の部



「梅の闇」
須賀紅月(大分市)



「萬葉歌」
橋本俊子(大分市)

写真の部



「寒稽古」
八坂俊明(別府市)



「師走の彩」
大杉勝通(大分市)

日本画の部	優秀賞	阿弥陀如来三尊像	原 隆(杵築市)
		城下町	矢川 満利(大分市)
	審査員特別賞	初春	古園 秀子(大分市)
		命の重み	藤 澤 博(大分市)
		大樹	藤田 重信(大分市)
		半夏生	吉良 カツ(大分市)

応募作品数37点

洋画の部	優秀賞	ともだち	山田 牧男(佐伯市)
		夢想	津田 美矢子(佐伯市)
	審査員特別賞	束ねられた時流	宮本 健次(大分市)
		病院の待合室	黒川 芳美(竹田市)
		春眠	藤丸 義志子(別府市)
		親父	松本 英二(中津市)

応募作品数54点

彫刻の部	優秀賞	鼻瘤悪尉	菊 地 司(大分市)
		能面(甘柘榴悪尉)	田中 勇司(日出町)
	審査員特別賞	花台	鈴木 誠一(日田市)
		コロコロかえる	中島 勝行(日田市)
		サイドテーブル	藤 澤 光(津久見市)

応募作品数9点

工芸の部	優秀賞	赤化粧柄黒水鉢	青井 久生(国東市)
		豊後の顔	安達 比敏(別府市)
	審査員特別賞	春深し	田中 和子(大分市)
		楽しみながら手織を	佐藤 洋子(豊後大野市)
		山里の春	酒井 貞子(別府市)
		紙しばい箱	佐藤 恒夫(日田市)

応募作品数48点

書の部	優秀賞	風の盆	安部 明子(大分市)
		杜牧の詩	内田 安彦(桂風)(大分市)
	審査員特別賞	金澤諒和の句	工藤 摩利子(大分市)
		万葉歌	江 藤 明美(明風)(大分市)
		黄庭堅の詩(漢詩)	大野 ヤス子(由布市)
		舟中(漢詩)	安倍 まき子(秀溪)(国東市)

応募作品数42点

写真の部	優秀賞	鎮める	牧 ツヤ子(別府市)
		ノラの居場所	山本 京子(大分市)
	審査員特別賞	氷彩 色模様	河野 正雄(大分市)
		朝の祈り	立川 扶佐子(別府市)
		水辺の秋彩	藤原 岑生(別府市)
		水蓮木	木寺 明子(大分市)

応募作品数55点

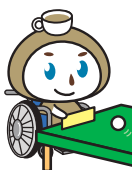
あすびあ^{おおい}oita 大会報告

県身体障害者福祉センター(あすびあおおい)体育室において、2つの県大会を開催しました。



第15回卓球バレー大会

4月23日、17チーム118名が参加し、白熱した試合を行いました。成績は次のとおりです。



優勝	別府フラワーズA(別府市)
準優勝	別府フラワーズC(別府市)
第3位	コスモスB(大分市)



第23回ふうせんバレーボール大会

6月4日、15チーム131名が参加し、由布ブロック、鶴見ブロックに分かれ、熱戦を繰り広げました。

由布ブロック

優勝	キャッツアイ(中津市)
準優勝	大山うめくり(日田市)
第3位	にゃんこの眼(中津市)
交流戦優勝	美多みんシックス(大分市)

鶴見ブロック

優勝	ゆめいろB(大分市)
準優勝	ベビーモンスター(大分市)
第3位	糸口学園(宇佐市)
交流戦優勝	スカイラブ(大分市)



ふうせんバレーボール大会の試合終了後、「アンサンブル太陽」によるミニコンサートが行われ、参加者は楽しい時間を過ごしました。

お知らせ あすびあフェスタ2017

来る11月19日(日)に「あすびあフェスタ2017」を大分県総合社会福祉会館で行います。
講演会や公開トーク、囲碁交流大会、夢物語作品展、ふれあい市などを実施しますので、ぜひご参加ください。

お問い合わせ先

あすびあ^{おおい}oita 大分県身体障害者福祉センター
TEL:097-558-4849 FAX:097-558-0316
HP: <http://www.sc-oita.net>



ゆうあいスポーツ大会を開催

県と県知的障害者施設協議会(本会事務局)は、6月24日、大分銀行ドームにおいて「第37回大分県ゆうあいスポーツ大会」を開催しました。

本大会は、県内の知的障がいのある施設利用者がスポーツを通して体力の向上と融和を図ることなどを目的に開催し、今年で37回目を迎えました。

今年は、あいにくの雨によりドームの屋根を閉めての開催となりましたが、400m走やフライングディスクなど11種目の競技を実施しました。

大会には、県内の48施設1,601名の参加があり、大会新記録こそ出なかったものの、参加者による熱戦が繰り広げられ、盛会裡に開催することができました。

また、この大会には、ボランティアとして、大分県障害者フライングディスク協会、ボランティア西の州、大分介護福祉士専門学校、智泉福祉製菓専門学校、大分高校吹奏楽部、大分大学や大分南高等学校の学生の皆様など多くの方々のご協力を得て開催することができました。



教えて
よもじい!

「成年後見制度利用促進基本計画」

って何?



よもじい、よもじい!



“成年後見制度”っていうのは、認知症高齢者や、精神・知的障がい者のような判断能力が充分でない人たちの権利をまもるための制度ダイね。



なんじゃい、だいふくん。



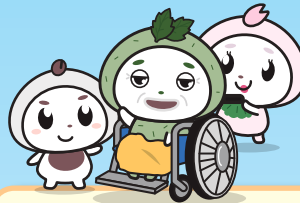
うむうむ。
よく勉強しとるな。



最近、“基本計画”って単語をよく見かけるんだけど何のこと?



よしきた! 今回は
“成年後見制度利用促進
基本計画”について教えてよう。



「成年後見制度利用促進基本計画とは」

成年後見制度利用促進基本計画は、成年後見制度の利用の促進に関する法律(平成28年法律第29号)に基づき、成年後見制度の利用促進に関する施策の総合的・計画的な推進を図るために策定された。

計画の対象期間は概ね5年間(平成29~33年度)を念頭においており、国・地方公共団体・関係団体等は、各施策の段階的・計画的な推進に取り組むこととしている。



うーん。難しいモチ...



本会では、平成29年度から「広域型権利擁護センター設置促進事業」を実施しています。後見制度の利用促進を含めた広域型の権利擁護センターの設置を促すことで、県内の権利擁護に対する体制整備に取り組んでいます。

簡単に言うと、
“成年後見制度を使いやすくするために、
国・県・市で体制整備をするという計画が
できた”と思ってくれたらよいぞ。



それなら何となくイメージできた!
ありがとうよもじい!



うむ。(わしもそろそろ任意後見について考えるかのう...)



“あんしんサポートセンター”って
どんなことをしているの?



県あんしんサポートセンターでは、日常生活自立支援事業の実施を中心とした、県内における権利擁護体制の構築・支援等を行っています。



平成29年度は具体的には
こんな事業に取り組んでるモチ。

事業名	概要
① 日常生活自立支援事業	判断能力が十分でない方を対象に、福祉サービスの利用手続きや日常的金銭管理等を行うもの。
② 権利擁護・成年後見セミナー (地域福祉推進活動事業)	地域における権利擁護ネットワークの構築、制度の効果的な利用など権利擁護活動の普及・啓発のためのセミナーを行うもの。
③ 広域型権利擁護センター設置促進事業	複数の自治体に跨がる広域型の権利擁護センターの設置をコーディネートするもの。

※その他、権利擁護に関する相談や大分あったか・はーと駐車場利用制度の受付窓口等も行っています。



特に最近、全国的に“成年後見制度”を利用しやすいようにする体制整備が行われてきていて、大分でも積極的に取り組んでいるモチ!

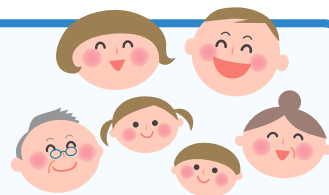
お問い合わせ先

TEL:097-551-0110
FAX:097-551-5454



社会福祉法人の社会貢献活動

～おおいた“くらしサポート”事業から2年が経過～



県内の社会福祉法人が協働し「豊かな地域社会づくり」をめざして、平成27年7月に発足した「大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会」(以下「協議会」)は様々な事業を展開しています。

主な事業として、既存の制度では対応できない「制度の狭間」の問題や生活困窮者等のさまざまな福祉課題に、施設職員が相談員(「以下「CSW(コミュニティソーシャルワーカー)」)となり相談者に寄り添い継続的な支援を行う「おおいた“くらしサポート”事業」を展開しています。

事業開始から2年が経過、これまで各施設のCSWが200件を超える多くの相談に対応してきました。相談者の状況としては、経済的困窮に陥った人がほとんどであり、失業、病気、多重債務、さらには社会的孤立、DV被害など重層的に絡んでいるケースが

ほとんどです。

また、相談者の状況によって緊急一時的に支援が必要な人には、10万円を限度とする経済的援助(現物給付)を行うこととしており、食材のほか料金滞納により停止された電気・ガス代、就労活動に必要な携帯電話料金や住居確保のための諸費用等々、昨年度末まで約160件、550万円の支援を実施してきました。

相談を受けるなかで、生活困窮に至る前の早期発見の仕組みや地域との関わりの構築、他の相談機関との連携が重要であることが見えてきました。

今後、協議会では多くの相談支援に対応するため、CSWの増員や市町村社協はじめ関係機関との連携強化を図るとともに、本事業の広報に一層努めていくこととしています。



世帯の自立をお助けします! ～生活福祉資金のご案内～

生活福祉資金貸付制度は、低所得者、障がい者または高齢者に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことで、経済的自立及び社会参加の促進を図り、相談者が安定した生活を送ることができるよう支援することを目的としています。

貸付対象者:大分県内に居住(または予定)している人

低所得世帯	世帯の収入が一定基準内の世帯
障がい者世帯	身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人の属する世帯
高齢者世帯	65歳以上の高齢者の属する世帯

総合支援資金

失業などにより生計維持が困難になり、生活再建のための継続的な相談支援を必要とする世帯に対し、資金を貸し付けることで世帯の自立を支援する貸付制度です。

教育支援資金

低所得者世帯を対象に、学校教育法に規定する高校、短大、大学、高等専門学校等に就学するのに必要な経費を無利子でお貸しする貸付制度です。

不動産担保型生活資金

住み慣れた我が家で老後を送れるように、所有しているお住まいの土地・建物を担保として生活資金をお貸しする貸付制度です。

福祉資金(技能習得、療養介護、住宅増改築、災害援護等)

低所得者、障がい者及び高齢者の世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことで、経済的自立及び在宅福祉、社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。

緊急小口資金

緊急かつ一時的に生計の維持が困難になった場合に必要少額の費用を貸し付ける制度です。10万円以内の貸付。

ご相談・お申し込みは、お近くの民生委員またはお住まいの市町村社会福祉協議会へ。

初心者
歓迎!

介護の職場を体験してみませんか!

～あなたのやさしさがきっと活かせる～

介護の仕事に関心をお持ちの方であればどなたでも結構です。参加費は無料です。

職場の体験

【実施の期間】 **2月28日(水)まで**

※定員になり次第**第1次**とさせていただきます。ご了承ください。

【実施の日程】 おおむね3日程度 8時30分～17時まで

※本人の希望を尊重します。



申込の方法

大分県福祉人材センター又はハローワークに設置している所定の「申込用紙」にてFAXで申込み。

申込締め切り

体験希望日の10日前まで

お問い合わせ先

大分県福祉人材センター

大分市明野東3丁目4番1号

大分県社会福祉介護研修センター内

TEL:097-552-7000 FAX:097-552-7002

さらなる質の向上のために

福祉サービス第三者評価を受審してみませんか？

福祉サービス第三者評価事業とは、事業所の実施するサービスの質を、当事者（事業者及び利用者）以外の公正・中立な第三者評価機関が、専門的かつ客観的な立場から評価する事業のことです。

第三者評価は、最低基準等を満たした上で、よりよいサービス提供を行っている事業者が、自らの提供するサービスのさらなる質の向上や利用者への情報提供のために、受審料を払って受けるものです。

事業者にとって

評価を受審する事業者としては、客観的に支援・援助システムを分析できること、そして自分たちに何が足りないのか、また逆に何が自分たちの特徴なのかを気づくことが出来ます。また、事業者として、より高いレベルに進むには何をすれば良いのかを発見する機会にも繋がります。

利用者にとって

福祉サービス第三者評価事業には、利用者本位という考え方が根底にあります。その考え方に基づき、サービスが実践されているか、また、達成されているかを第三者が評価し、その情報を利用者等に提供することがもっとも重要なポイントになります。つまり、利用者やこれから利用する方々への中立・公正かつ適切な情報源となります。

受審による効果

福祉サービス第三者評価を受審することによって、次のような効果が期待できます。

● サービスの改善点が明らかに

現在、日常的に提供しているサービスが、本当に利用者本位のサービスとして提供されているか確認でき、改善すべきサービスの内容が明らかになります。

● 目標設定につながる

改善点が明らかになると、サービスの向上に向けた具体的な取組が明らかになり、その達成に向けた目標を設定することができます。

● サービス内容の改善

目標が設定されれば、その目標達成のために、具体的なサービス内容が改善され、結果としてサービスの質が向上します。

● 職員の気づき

評価を受ける課程や自己評価の課程で、改めて利用者本位のサービスに気づき、課題の共有とともに、改善意欲の向上に結びつきます。

● 利用者や地域からの信頼

評価を受けることで、利用者や地域からの信頼の獲得と向上に繋がり、事業者独自の姿勢や取組をアピールできることにもなります。



評価基準の基本的な考え方

● 行政監査と福祉サービス第三者評価

行政監査は、法令が求める最低基準を満たしているか否かについて定期的に所轄の行政庁が確認するものであり、社会福祉事業を行うためには最低限満たしていなければならない水準を示しているものです。

一方で、第三者評価は、現状の福祉サービスをよりよいものへと誘導する、すなわち、福祉サービスの質の向上を意図しているという点で行政監査とは根本的にその性格を異にしています。

● ランク付けや欠点探しではない。

福祉サービス第三者評価は、ランク付けや欠点探しが目的ではありません。



【お問い合わせ先】 **福祉サービス評価センターおおいた**
大分県大分市大津町2-1-41 大分県総合社会福祉会館内
電話 097-558-1560 FAX 097-558-1990

平成28年度

大分県社協事業報告

第3次中長期活動計画(だいふくプラン2013)の4年目にあたり、各重点テーマ毎の実施計画に基づき事業展開を図りました。

各部所毎の主な取り組み

総務・企画情報部

- 県社協第3次中長期活動計画(だいふくプラン2013)の進行管理
- 県総合社会福祉会館の運営(利用人数 27,720人)

地域福祉部

- 市町村社協役職員会議・研修会の開催(社会福祉法人制度改革の対応等)
- 市町村社協活動強化支援の推進(地域福祉推進委員会の運営)
- 生活困窮者自立支援制度への対応支援(大分県生活困窮者就労支援協議会の設立)
- 子ども食堂開設に向けた手引き書作成(680部)
- 日常生活自立支援事業の推進(相談件数316件)

市民活動支援部

- ボランティア・市民活動の啓発促進
- 災害ボランティア活動の推進
- ふくしまっ子応援プロジェクト6の実施
- 豊の国ねりんピックの開催、第29回全国健康福祉祭ながさき大会への参加
- フードバンクおおいたの設立(寄贈食品7.8トン、提供食品7.3トン)

福祉資金部

- 生活福祉資金貸付事業の運営(貸付件数693件)
- 新たな貸付事業の取り組み(貸付件数136件)

施設団体支援部

- おおいたくらしサポート事業の推進
- 福祉サービス評価センターおおいた評価・調査実績(第三者評価7件)

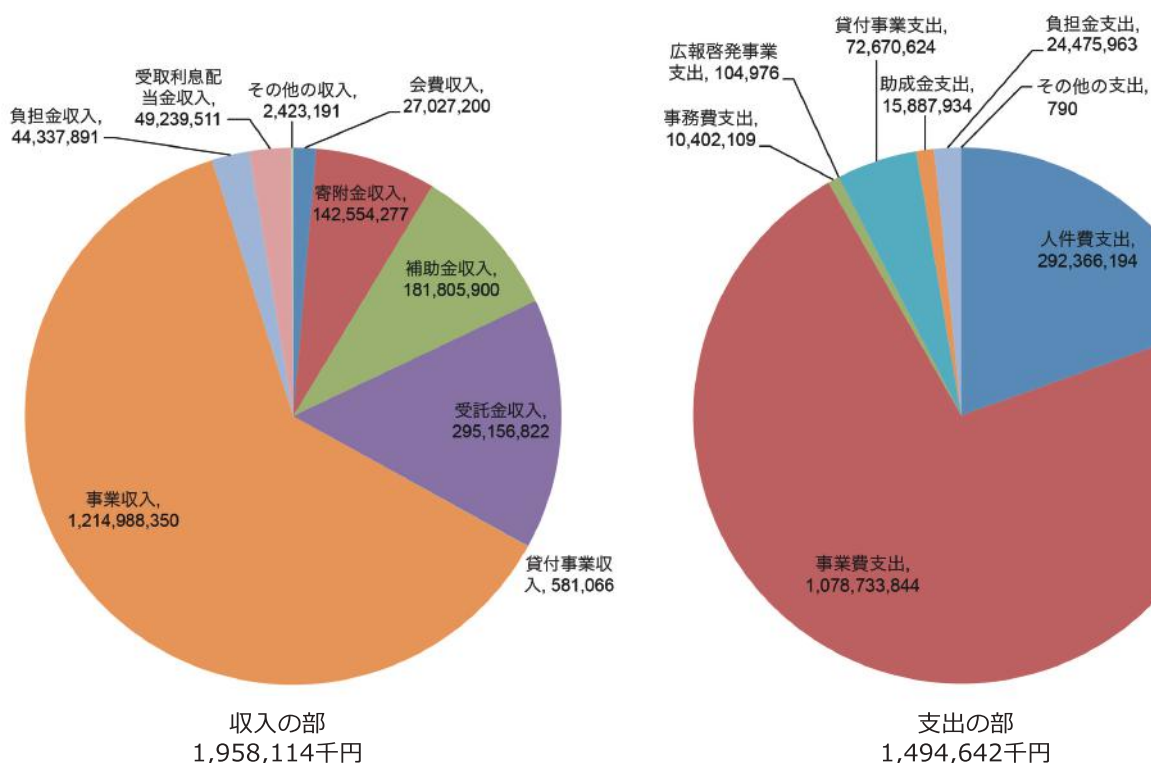
社会福祉介護研修センター

- 社会福祉関係職員等研修の開催(延べ3,724人の参加)
- 介護研修会の開催(延べ9,859人の参加)
- 福祉人材センター事業(就職相談件数3,830件、就職者数 161人)
- 介護支援専門員実務研修受講試験の実施

身体障害者福祉センター

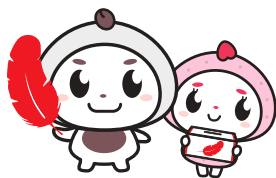
- センターふれあいフェスタの開催(来場者延べ1,710人)

平成28年度一般会計資金収支決算報告(事業活動による収支のみ)



赤い羽根共同募金

“今年も募金のご協力をよろしくお願いします”



今年度の目標額

2億475万3千円

一般募金 1億3,846万1千円
歳末募金 6,629万2千円

共同募金は、必要とされる金額をその年の目標額とする計画募金です。これは社会福祉法で定められた、助成を必要とするところへ公平に配分するための方法です。

今年のバッチ&ボールペン
できました



デザイン…大分県鶴崎工業高等学校3年
板井 美月 さん



デザイン…大分県立芸術短期大学
高松 満里奈 さん



ご希望の方は大分県共同募金会までご連絡ください。

平成29年度 新しい募金が始まります



今年度から、新たに「テーマ募金」を始めます。

募金期間は、1月から3月までの3ヶ月間で、団体が、自分たちの活動や解決したいことを直接寄付者に呼びかける募金です。寄付者も、応援したい団体を選べる募金です。

参加する2団体をご紹介します。

募金方法等詳しくは大分県共同募金会までご連絡ください。

児童養護施設森の木 児童家庭支援センター「ゆずりは」

“子育て応援事業”

児童虐待防止と子どもの関わり方を学ぶため、
年8回のプログラムを開催予定
募金目標額／40万円

NPO法人地域ひとネット

“子ども達にふれあい囲碁で友達作り応援事業”
子ども食堂に通う子どもや長期入院してる子どもを対象に、ゲームを通してたくさんの人との交流を楽しめる機会を増やす
募金目標額／15万円

おおいたのグルメを食べて募金をしよう

大分グルメ散歩募金
新規団体の商品のご紹介

新商品6品を含む29品を販売。8月末よりパンフレットお配りします。HPからも申込用紙をダウンロードできます。

28 無添加エビせん@くにさき
煎餅(25g)+婆焼き(10g)
500円
募金額 100円

大分県内で水揚げされたエビを無添加で焼き上げました。お好みのアレンジでお召し上がり下さい。

国東ゴコク堂

29 しいたけ三宝セット
しいたけ佃煮(80g)
しいたけ味噌(80g)
しいたけからし和え(80g)
1,080円
募金額 216円

世界農業遺産の郷、豊後高田市で育った椎茸を使用。食べきりサイズで3つの味わいを楽しめます。ごはんのお供に最適です。

玉津まちの駅 夢むすび



販売期間
9月初旬から11月下旬

募集します!

NPO、ボランティア団体、グループ等の地域福祉活動を応援します。お気軽にお問合せください。

大分県共同募金会

検索

社会福祉法人 大分県共同募金会

〒870-0907 大分市大津町2丁目1番41号大分県総合社会福祉会館3階
TEL 097-552-2371 FAX 097-552-6250



フードバンクにご協力ください

フードバンクとは

賞味期限内でまだ十分食べられるにもかかわらず、ハコが壊れたり、印字ミスなどで販売できない食品などを、企業や家庭から寄付して貰い、**必要としている人や団体に無償で提供する活動**です。主に、生活困窮者や子ども食堂へ提供しています。フードバンクおおいたは、この活動のシステムづくりを進めています。

フードドライブとは

家庭などであまった食料品を持ち寄り、「食」に困っている個人や子ども食堂等を支援するための活動です。**ご家庭に眠っている保存食品**（お中元やお歳暮の品、お米、乾物、缶詰など）や**厨房消耗品**（調理用手袋、使い捨てフキン、マスク、食品用ラップ、ペーパータオル、クッキングペーパー）をお寄せください。いただいた食品等は、生活困窮者や子ども食堂などにお届けします。

フードバンクおおいたでは、フードバンクに寄せられた食品の仕分けや配送、イベントの手伝い等にご参加いただけるボランティアの方を募集しています。募集内容は、本会フードバンクおおいたのホームページに掲載しています。

フードバンクの必要性

現在、日本では子どもの7人に1人が相対的貧困状態にあり、子どもたちを養育する世帯のうちひとり親世帯、とりわけ**母子世帯は2世帯に1世帯が相対的貧困**のなかで生活を余儀なくされているといわれており、子どもやひとり親世帯の貧困が大きな社会問題となっています。

一方、食品流通の現場では、包装の破損や印字ミス、賞味期限・販売期限等の理由により、品質には問題がない食品まで廃棄されている現状があります。

フードバンクを活用することにより、相対的貧困状態に置かれている子どもたちやひとり親世帯の「食」を支援し、他方、食品製造や流通・小売りなどの企業には、社会貢献活動を実施していただくなかで、廃棄コストの削減にもつながるものと考えています。

お問合せ先

フードバンクおおいた（市民活動支援部内）

TEL: 097-558-3373 FAX: 097-558-1296

E-mail: oitavoc@oitavoc.jp



賛助会員ご紹介

平成29年7月31日現在

本会の活動に賛同いただける「賛助会員」へのご加入をお願いしています。賛助会費は、県内の地域福祉活動を支援するために使われています。ご加入いただきありがとうございます。（敬称略・順不同）

企業・団体	一般社団法人 大分県歯科医師会	医療法人社団 仁泉会 畑病院	医療法人社団 三杏会 仁医会病院
新日本法規出版株式会社 福岡支社	株式会社 テレビ大分	医療法人 岡仁会 大分共立病院	特定非営利活動法人 ゆうゆう
株式会社 電子印刷センター	株式会社 豊和銀行	一般社団法人 大分県建設業協会	大分県済生会 日田病院
医療法人 向心会 大貞病院	株式会社 大分銀行	大日商事株式会社	一般社団法人 生命保険協会
医療法人 英然会 里見医院	社会福祉法人 玖珠会	医療法人 慈愛会 向井病院	大分県協会
大分ゼロックス株式会社	有限会社 夢のおと	大分県商工会議所連合会	株式会社 大分航空トラベル
大分県司法書士会	グローバルライフ生石	医療法人 穂山会 秋山医院	日本電通株式会社 大分営業所
医療法人社団 唱和会 明野中央病院	大分電子工業株式会社	丸果大分大同青果株式会社	特定非営利活動法人 ホビータイム
玖珠工業株式会社	有限会社 明友	よしどめ内科・神経内科クリニック	東九州設計工務株式会社
嶋津内科医院	株式会社 大分白屋	株式会社 佐伯建設	株式会社 大分放送
杉谷診療所	有限会社 寺司装備	ライフホーム まない	一般社団法人 大分市医師会
有限会社 ワイズケア	医療法人社団 親和会	公益社団法人 大分県理学療法士協会	大分朝日放送株式会社
医療法人社団 尾整形外科医院	株式会社 オー・ピー・シー	濱田重工株式会社 大分支店	大分商工会議所
有限会社 大分エンゼル商事	名鉄観光サービス株式会社 大分支店	特定非営利活動法人 銀河鉄道	三井住友信託銀行株式会社 福岡天神支店
社会保険労務士事務所 SRI	医療法人 鶴友会 老人保健施設 メディピアが	大分県医師会	有限会社 福福 小池原福招苑

個人

池辺 廣司	平岡 祥子	西永 和夫	河野 千代子	松田 重博	広瀬 通隆	梅木 豊誌
臼杵 清次	伊東 雅人	富高 義和	神本 紀武	大津 幸江	高橋 勉	

いつも
ありがとうございます

善意銀行預託者

平成29年4月～平成29年7月

いただいた金銭・物品は、社会福祉施設や各種地域福祉活動、またご指定があった事業等に活用しています。ご協力、ありがとうございました。

- 社会福祉法人 若山会
- 福岡 ICHIBAN のほせ祭り2017実行委員会
- Volunteer studio 銀の笛
- 細川順三
- 福島県相馬郡新地町 新地小学校・福田小学校・駒ヶ嶺小学校の児童・保護者・教職員

（敬称略・順不同）

